

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会

開催結果（第15回）

1. 日 時

令和4年2月16日（水）午前9時30分から11時30分まで

2. 場 所

南丹市国際交流会館 コスモホール

京都府公館 第1会議室

※一部リモートにて実施

3. 出席者

委員19名（うち代理2名）

（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

○JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通計画最終案について

- ・パブリックコメントの実施結果について
- ・最終案の内容について

○地域公共交通計画策定事業の事業評価に係る報告について

6. 主な発言

〈協議事項〉

○JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通計画最終案について

- ・パブリックコメントの①はJR減便に対する意見なので、回答の対応施策にはそぐわないのでは。現状、減便の回復とか増便という直接的な記載をすることが難しいのであれば、それに向けて今あるサービスの改善等できることからやっていく、ということを明示する必要がある。
- ・施策④-1、④-3について、「段差解消など」「Wi-Fi など」と記載がある。「など」は代表的なもののはずだが、中身はそうっていないのでは。
- ・施策の「主な実施場所」について、「主な」と言っているのに、「等」をつけるのはぼやかしすぎだと思う。
- ・施策①-1について、「公共交通の利用促進」となっているが、広すぎる表現であり、計画全てを指してしまう。しかし、実態はMM。MMも一つの手段。「地域の認識を変えていく」などの表現が適切なのでは。

- ・概要版に実績の記載は不要。これまでの実績ではなく、実施組織体制や、スケジュール等を追加してはどうか。
- ・これまでの案から比べて、内容は良くなっている。各担当箇所ですべて実際に計画を実施していくことがなによりも重要である。
- ・将来の夢を示した計画となっており、関係箇所に説明しやすく良いものになっている。計画の実施やPDCAを関係各所とともに協力して進めていきたい。
- ・④-1「誰でも利用しやすい」という意味では、照明やトイレの改修は④-1に含めることとしてはどうか。
- ・MMで利用者を増やすなら、別途目標が必要。ただ単にやるだけにならないようにすべき。必ずしも計画に記載する必要はないが、別途とりまとめを行うなどしておくといよい。
- ・計画編P74のスケジュール表について、バス年度と合わないのではないか。通常の年度とバス年度のどちらを基準とするのかははっきりした方がよいのでは。

○地域公共交通計画策定事業の事業評価に係る報告について

- ・意見なし

等